

# 日本の都市の湿度の過去105年の変化について

豊岡市、鳥取市、京都市、姫路市、岐阜市、広島市、熊谷市、富山市の1905年から2014年までの平均湿度の推移をグラフ化しています。元データは気象庁の過去のデータの表です。

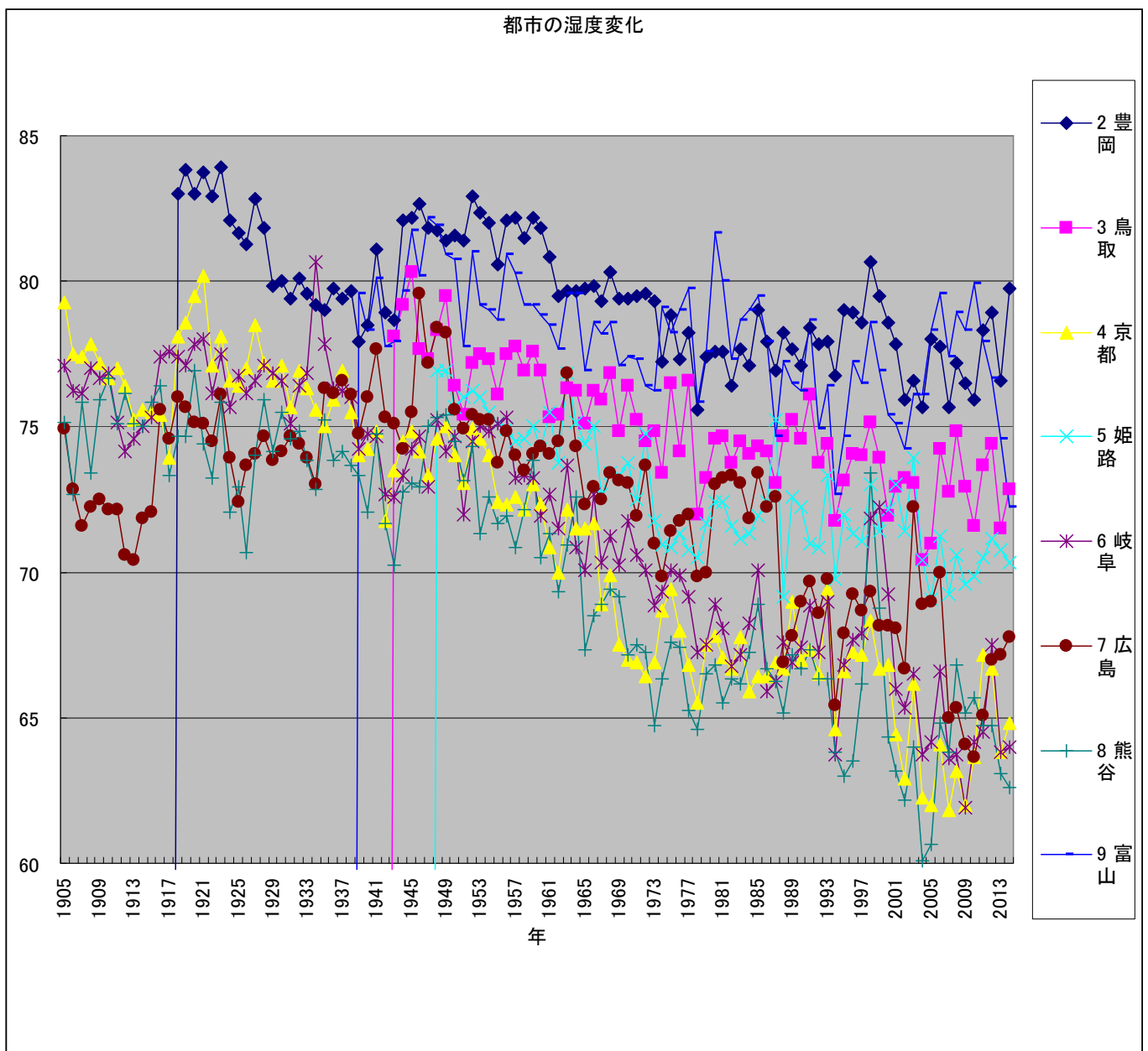
上のグラフは1年間の平均湿度の推移を8都市まとめてグラフ化しています。

下のグラフは4月から10月までの平均湿度の推移です。

日本海側の都市は冬の降水のため冬期の湿度が極めて高いため、それを除くため、下側に4月から10月までの平均湿度のグラフをつけました。

これによると地方の小都市も含めて、各都市とも湿度が低下しています。特に太平洋側の都市の湿度低下が顕著です。百年間で年平均湿度が10%以上低下しています。一方日本海側の冬期に雨雪の多い地域は比較的湿度低下は穏やかですが明らかな湿度低下は否めません。

なお、1945年あるいはもう少し以前にデータの段差ができていますが、これは観測機器の変化による可能性があります。



# 4月から10月までの平均湿度の推移

